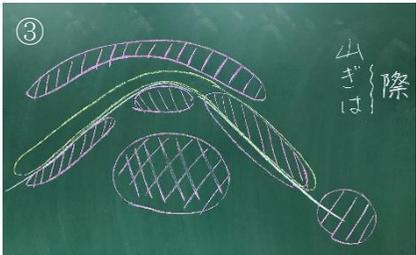


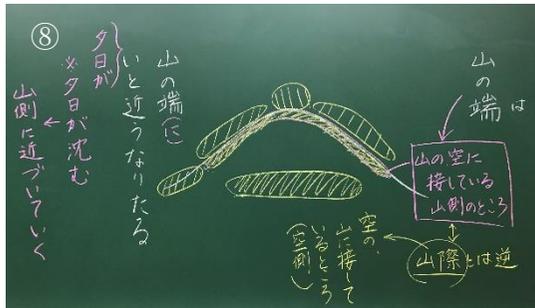
## 授業実践例

### ○授業の流れ

授業時数	学習内容・授業展開・学習活動	児童の様子・発表例等
第1時	<p>1. 作品背景の説明  「春はあけぼの」の内容解説・発問・発表。  ・『枕草子』と『源氏物語』⇒平安時代の代表的な文学作品（紹介）  ・清少納言と紫式部⇒平安時代の代表的な女流文学者，エピソード  ⇒児童の関心を惹く目的</p> <p>2. 通読  ・読み方の確認  ・範読→音読：「春はあけぼの」を各自で5分間数回音読。  ・ペアワークで音読（写真①・②）</p> <p>3. 文章中に使われている言葉から感じるイメージを想像させて考えさせる。（解説しながら発問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あけぼの」の意味を、続きの文章から想像させて考えさせ、ノートに書かせる。⇒各自が想像したものを発表させる。</li> <li>・「やうやう白くなりゆく」の「やうやう」とは？ ⇒各自が想像したものを発表させる。</li> <li>・「山ぎは少し明かりて」の「山ぎは」とは？ ⇒漢字にすると「山際」であることを伝えて板書。 ⇒ノートに山の絵を描かせ、どの辺りを指す言葉であるかを図示させる。 ⇒黒板に山の絵を描き、一人ずつ図示させて説明させる。（写真③）</li> <li>・「むらさき立ちたる雲のほそくたなびきたる」の「むらさき立ちたる」とは？⇒各自が想像したものを発表させる。</li> <li>・「なぜ、紫がかって見えるのか？」 ⇒各自が想像したものを発表させる。</li> </ul> <p>4. 最後に、もう一度一斉読。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・全員その場に立ち、ペアで交互に5回音読する。相手の音読を聞きながら反芻する。</p> <p>〈児童の発表例〉 太陽，朝，空，日の出，<u>夜明け</u></p> <p>〈児童の発表例〉 とても，もっと，少し，<u>だんだん</u></p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>〈児童の発表例〉  山の頂，山裾，山の中腹，  山の空と接する山側，  <u>空の山の接する空側</u></p> <p>〈児童の発表例〉  むらさきに染まった，むらさきっぽい，<u>むらさきがかった</u></p> <p>〈児童の発表例〉  朝日が雲に当たってきたから，夜明けの空の色が雲に映ったから，  夜が明けてきてだんだん明るくなってきたから</p> </div>  </div>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第2時	<p>1. 音読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の初めに全員で全文音読し、その後、「春はあけぼの」を全員で音読。</li> <li>・ペアワークで音読・暗唱練習 ⇒全員その場に立ち、ペアで交互に5回音読する。 ⇒文章を見ないで3回ずつ交互に暗唱する。 ⇒終わったペアから座る。 ⇒暗誦チェック</li> </ul> <p>2. 「春」からイメージする名詞・形容詞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「春」からイメージする名詞・形容詞を考え、ワークシートに書く。 (写真④)</li> <li>⇒各自がイメージした言葉を発表させる。</li> <li>⇒全員発表後、出た言葉以外に思いつくものを発表させる。</li> <li>⇒更にシートに書き込む。</li> </ul> <p>3. 「夏は夜」の音読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏は夜」を各自で5分間数回音読。</li> </ul> <p>4. 文章中に使われている言葉から感じるイメージを想像させて考えさせる。(解説しながら発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「月のころ」と「やみ」のそれぞれの良さとは？ ⇒各自が想像したものを発表させる。(写真⑤)</li> </ul> <p>5. 最後に、もう一度一斉読。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の音読を聞きながら反芻する。</li> <li>・1組から順に暗誦チェックを行う。⇒全員合格 ※発表できたら拍手⇒意欲が増す⇒合格しようと集中力が増す</li> </ul> <div data-bbox="1464 459 1845 746" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が思いついた「春」からイメージした名詞・形容詞の言葉を一人ずつ発表。 ⇒自分の答えた言葉以外の発表があったら、その言葉を青ペンで書き込む。</li> <li>・全員その場に立ち、ペアで交互に5回音読する。相手の音読を聞きながら反芻する。</li> </ul> <p>〈児童の発表例〉  「月夜の月明り」と「闇夜の暗がりの蛍の光」の美しさ  「月」も「蛍」もどちらもよい。(きれい)  「月の光」よりも「蛍の光」がきれい。  「闇だと蛍の光が目立つ。」</p> <div data-bbox="1767 1134 2136 1414" data-label="Image"> </div>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第3時	<p>1. 「夏は夜」の音読・内容解説          ・授業の初めに「夏は夜」を全員で音読。</p> <p>2. 文章中に使われている言葉から感じるイメージを想像させて考えさせる。(解説しながら発問) ※前時の続き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほたるの多く飛びちがひたる」と「ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行く」からどんなイメージが湧くか？ ⇒各自が想像したものを発表させる。</li> <li>・「をかし」とは何だろう？ ⇒各自が想像したものを発表させる。 ⇒児童の発表をもとに、「をかし」は、ものを客観的・理知的に興味深く見て、良いと感じるという言葉のニュアンスを伝える。 ⇒何とも言えない「風情・趣き・味わい」がある、という意味であることを伝える。</li> </ul> <p>3. ペアワークで音読・暗誦練習          ⇒全員その場に立ち、ペアで交互に5回音読する。(写真⑥)          ⇒文章を見ないで3回ずつ交互に暗唱する。          ⇒終わったペアから座る。          ⇒暗誦チェック</p> <p>4. 「夏」からイメージする名詞・形容詞のワークシート配付          ⇒「夏は夜」の音読と暗誦の練習とともに宿題として指示。</p>	<p>〈児童の発表例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほたるの多く飛びちがひたる」 ⇒「蛍がたくさん飛んでいる」から明るい・きれい。</li> <li>・「ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行く」 ⇒かすかに光っている、少しだけ光っている、何となく光っているように見える</li> </ul> <p>〈児童の発表例〉  <u>おもしろい</u>、おかしい、よいと思う、美しい、かわいらしい、すばらしい</p> <p>・相手の音読を聞きながら反芻する。</p> <p>・暗誦チェック⇒自信がある児童に挙手を促す→4名挙手⇒合格</p> 

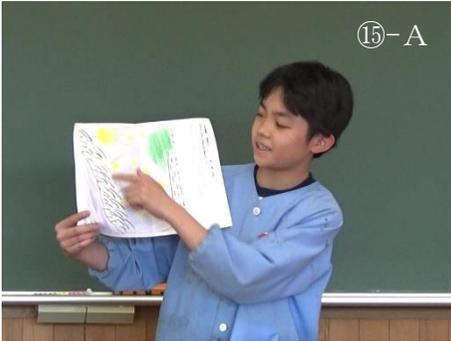
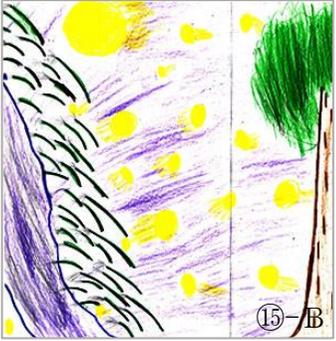
授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第4時	<p>1. 「夏」からイメージする名詞・形容詞（前時の宿題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏」からイメージする名詞・形容詞を発表する。</li> <li>⇒各自がイメージした言葉を発表させる。</li> <li>⇒全員発表後、出た言葉以外に思いつくものを発表させる。</li> <li>⇒更にシートに書き込む。</li> </ul> <p>2. 音読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の初めに全員で「秋は夕暮れ」を音読。</li> <li>・「秋は夕暮れ」の音読と暗誦の練習を宿題として指示。</li> </ul> <p>3. 文章中に使われている言葉から感じるイメージを想像させて考えさせる。（解説しながら発問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夕日のさして山の端いと近うなりたるに」の「山の端」とは？</li> <li>⇒「春はあけぼの」の「山ぎは」を思い返させ、夕日が沈むところをイメージさせながら、ノートに山の絵を描かせ、どの辺りを指す言葉であるかを図示させる。</li> <li>※考える手立てとして「(夕日が) いと近うなりたる (とても近づこうとしている)」情景を思い描くように指示する。</li> <li>⇒黒板に山の絵を描き、一人ずつ図示させて、説明させる。 (写真⑧)</li> <li>・「からすのねどころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり」の「あはれ」とは？</li> <li>⇒各自が想像したものを発表させる。</li> <li>⇒しみじみとした深い感動から感じる「風情・趣き・味わい」がある、という意味。</li> </ul>	<p>・各自が思いついた「夏」からイメージした名詞・形容詞の言葉を一人ずつ発表。</p> <p>⇒自分の答えた言葉以外の発表があったら、その言葉を青ペンで書き込む。(写真⑦)</p>  <p>⑦</p>  <p>⑧</p> <p>〈児童の発表例〉 山裾，山際と同じ，<u>山の空と接する山側</u> ※「山ぎは(山際)」からの気づき</p> <p>〈児童の発表例〉 かわいい，かわいそう，あわれ，残念，<u>風情がある</u>，<u>趣きがある</u>，<u>味わいがある</u> ※「をかし」からの気づき</p>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第4時	<p>・「まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし。」から、「をかし」と「あはれ」の違いを説明  をかし＝客観的で、興味深く観察する態度が根本になる感動を表す。  あはれ＝主観的で、しみじみとした深い感動が中心となる心情を表す。</p> <p>・「日入りはてて、風の音、虫の音など、はたいふべきにあらず」から、「風の音、虫の音」が聞こえるというのは、どんな効果があるのか？  ⇒各自が考えたものを発表させる。(写真⑨)</p> <p>⇒児童の発表から  ↓  小さな音が聞こえる⇒とても静かな様子⇒秋の夜はとても静か  静かな中で小さな音が聞こえる⇒一層静かに感じる  ↓  秋の夜の静けさを一層深く感じさせる効果</p> <p>4. 「秋」からイメージする名詞・形容詞のワークシート配付  ⇒「秋は夕暮れ」の音読と暗誦の練習とともに宿題として指示。</p>	<p>〈児童の発表例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋風がそよそよと吹いてくる音が聞こえる  ⇒とても静かな風の音が聞こえる</li> <li>・虫の音＝虫の声が聞こえる  ⇒小さい鳴き声が聞こえる</li> </ul> 

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第5時	<p>1. 「秋」からイメージする名詞・形容詞（前時の宿題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋」からイメージする名詞・形容詞を発表する。</li> <li>⇒各自がイメージした言葉を発表させる。</li> <li>⇒全員発表後、出た言葉以外に思いつくものを発表させる。</li> <li>⇒更にシートに書き込む。</li> </ul> <p>2. 音読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の初めに全員で「冬はつとめて」を音読。</li> <li>・「冬はつとめて」の音読と暗誦の練習を宿題として指示。</li> </ul> <p>3. 文章中に使われている言葉から感じるイメージを想像させて考えさせる。（解説しながら発問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つとめて」の意味を、続きの文章から想像させて考えさせ、ノートに書かせる。</li> <li>⇒各自が想像したものを発表させる。</li> <li>・なぜ、冬は「つとめて（早朝）」がよいのか？続きの文からその理由を考えてノートに書く。</li> <li>⇒各自が考えたことを発表させる。（写真⑩）</li> <li>・なぜ、「寒い朝」がよいのか？⇒各自が考えたことを発表させる。</li> <li>・どうやって「火」を起こす？→炭？→どうやって？→「火桶」って何？</li> <li>⇒電子黒板を使い、ネット上の画像を提示。→火桶（木製の火鉢）</li> <li>（写真⑪・⑫）</li> </ul>	<p>・各自が思いついた「秋」からイメージした名詞・形容詞の言葉を一人ずつ発表。</p> <p>⇒自分の答えた言葉以外の発表があったら、その言葉を青ペンで書き込む。</p> <div data-bbox="1554 509 1989 837" data-label="Image"> </div> <p>〈児童の発表例〉 夜明け，朝，午前中，日の出，<u>早朝</u>（正解）</p> <p>〈児童の発表例〉 雪がきれい，雪が降ると寒い，霜柱が立つほど寒い，寒いほうが冬らしい</p> <p>〈児童の発表例〉 火を起こして暖かくするから，炭火で暖まるのが冬らしいから，寒い方が冬らしいから</p> <div data-bbox="1617 1209 2132 1426" data-label="Image"> </div>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「昼になりて」とあるが、なぜ、昼と比べるのか？ ⇒各自が考えたことを発表させる。</li>   <li>・「火桶の火も白き灰がちになりてわろし」の「わろし」とは？ ⇒各自が考えたことを発表させる。 ⇒児童の発表から「みっともない」の意味であることに繋ぐ。</li>   <li>・なぜ「わろし」？ ⇒各自が考えたことを発表させる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白きはいがちになりてわろし。」には、どんな効果があるのか？</li> </ul> <p>4. 「冬」からイメージする名詞・形容詞のワークシート配付。 ⇒「冬はつとめて」の音読と暗誦の練習とともに宿題として指示。</p> <p>5. 第一段の四季の中から最も気に入った季節のものを1つ選び、その言葉からイメージした情景をイメージ画として表現する。 (週末課題として指示) ⇒月曜に発表会を行うことを予告。</p>	<p>〈児童の発表例〉 昼になると朝より暖かくなるから、 昼になると炭の火がいらなくなるから、 昼になると火が消えてしまうから、 昼になると炭の火が消えて灰だらけになるから</p> <p>〈児童の発表例〉 悪い、ふさわしくない、きたない、よくない</p> <p>〈児童の発表例〉 「昼はよくない」⇒朝がいい、朝の方が冬らしい ⇒朝の炭の火が昼には灰になるから</p> <p>〈児童の発表例〉 寒い朝に焚いた火が、昼になると燃え尽きて灰だらけになってしまう。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>寒さの緩む昼よりも、寒い朝こそが冬の季節にふさわしい情景だという効果。 (寒い早朝の火を起こしている様子が冬にふさわしい情景である。)</p>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第6時	<p>1. 「冬」からイメージする名詞・形容詞（前時の宿題）          ・「冬」からイメージする名詞・形容詞を発表する。</p> <p>⇒各自がイメージした言葉を発表させる。          ⇒全員発表後、出た言葉以外に思いつくものを発表させる。          ⇒更にシートに書き込む。</p> <p>2. 『枕草子』イメージ画の発表会          ・発表の仕方を指示する。          発表するにあたり、次の5つのポイントを押さえて、できるだけわかりやすく話すようにし、一人当たり1分程度で説明する。</p> <p>〈発表のポイント〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①どの季節を選んだか。その理由は？</li> <li>②選んだ季節の文章のどこが最も気に入ったのか。その理由は？</li> <li>③そこから、どんなイメージが浮かんできたか。</li> <li>④そのイメージを絵として表現するために、どんな工夫をしたか。</li> <li>⑤発表を聞く人が聞きやすいように、声の大きさと言葉をはっきりと伝えることに注意する。</li> </ol> <p>これらのポイントを押さえながら、どのように説明するかをノートにまとめるように指示。（5分でまとめる）</p> <p>・発表を聞く人の約束を指示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①発表する人の方を向いて、どんな工夫をしてイメージしたかをしっかりと聞き取る。</li> <li>②発表が終わったら拍手をする。（発表者の考えを承認する）</li> <li>③発表内容の良かったところをノートにまとめる。          ⇒後で発表することを予告。</li> </ol> <p>・発表の順番は挙手・指名制で行う。（発表・作品：写真⑬-A～⑭-B）</p> <p>・発表を聞くごとに、その発表内容の良かった点をノートに書き留めるように指示。          ⇒後で発表することを予告。</p>	<p>児童の様子・発表例等</p> <p>・各自が思いついた「冬」からイメージした名詞・形容詞の言葉を一人ずつ発表。          ⇒自分の答えた言葉以外の発表があったら、その言葉を青ペンで書き込む。</p> <p>〈児童の発表例〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1245 691 1693 1031">  <p>⑬-A</p> </div> <div data-bbox="1738 691 2074 1031">  <p>⑬-B</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1245 1066 1693 1406">  <p>⑭-A</p> </div> <div data-bbox="1738 1066 2074 1406">  <p>⑭-B</p> </div> </div> <p>※授業時間の都合上、第6時での発表は7名で実施。</p>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等
第7時	<p>1. 『枕草子』イメージ画の発表会（前時の続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表の順番は挙手・指名制で行う。（発表・作品：写真⑮-A～⑯-B）</li> <li>前時と同様に、発表を聞くごとに、その発表内容の良かった点をノートに書き留めるように指示。 ⇒後で発表することを予告。</li> </ul> <p>2. イメージ画に対する感想発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ画の発表後、一人一人の発表内容の良かった点を一人ずつ順番に発表する。</li> </ul>	<p>〈児童の発表例〉</p>     <p>※前時の続きで、第7時の発表は3名で実施。</p> <p>〈児童から出た個々の発表に対する感想例〉</p> <p>○K・Mくんへの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほたるがどこに住んでいるのかをしっかりと想像しながら絵に表していた。</li> <li>・絵を見て、ほたるが飛び交う様子がよくわかった。</li> <li>・夜の暗がりの様子がわかりやすい。</li> </ul> <p>○K・Oさんへの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明がわかりやすく、自分がほたるを見た時の経験から再現するようにして描いたので、様子がわかりやすかった。</li> <li>・ほたるが飛び交っている様子がわかった。</li> <li>・絵を見て、「ほたるの多く飛びちがひたる」の場面が想像できた。</li> </ul>

授業時数	学習内容・授業展開	児童の様子・発表例等																																																												
第7時	<p>(感想発表の様子:写真⑱)</p>  <p>3. この学習の振り返り 以下の観点と感想で、この学習（授業）を振り返らせた。</p> <table border="1" data-bbox="259 699 1155 1474"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>振り返り内容</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1 枕草子の暗誦</td> <td>自分から進んでやってみようと思う気持ちがあった。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>楽しみながらやろうとする気持ちがあった。</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>以前に比べて、暗誦することに少し前向きになった。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>暗誦するのはたいへんだった。</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">2 枕草子の学習姿勢</td> <td>自分から進んで理解しようと思う気持ちがあった。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>授業での説明や先生の話聞いていて、その場面の様子を想像できた。</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>各場面の情景を想像してみるのが楽しかった。</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>わからない言葉を自分から調べてみようと思った。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>四つの場面から自分の気に入った部分が見つかった。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>自分なりに内容を楽しみながら、よく理解できていたと思う。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>自分ではあまり理解できていなかったと思う。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>わかるまでもっと勉強すればよかったと思う。</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>先生にもっと話を聞きたかった。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>内容の意味がよくわからないままですまなかった。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">3 枕草子のイメージ画</td> <td>自分の好きな場面を絵に表すのはおもしろかった。</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>気に入った部分がたくさんあったので、もっとたくさん描いてみたかった。</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>言葉から感じたり、想像したりしたことを絵で表すのは楽しかった。</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>言葉から感じたり、想像したりしたことを絵で表すのは難しかった。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>言葉から想像して絵にするのが好きになった。</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>言葉から想像して絵にするのはあまりやりたくないと思った。</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>自分なりに工夫ができたと思う。</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>もっとよく感じて、考えて、工夫すればよかった。</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>どうしたらよいのかがよくわからなかった。</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>友だちからよいところを認めてもらえてうれしかった。</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>友だちからの感想を次に役立てようと思った。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>自分のイメージを自分なりに友だちに伝えられたと思う。</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>自分のイメージを友だちにうまく伝えられなかったと思う。</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	振り返り内容	合計	1 枕草子の暗誦	自分から進んでやってみようと思う気持ちがあった。	3	楽しみながらやろうとする気持ちがあった。	5	以前に比べて、暗誦することに少し前向きになった。	2	暗誦するのはたいへんだった。	0	2 枕草子の学習姿勢	自分から進んで理解しようと思う気持ちがあった。	6	授業での説明や先生の話聞いていて、その場面の様子を想像できた。	8	各場面の情景を想像してみるのが楽しかった。	7	わからない言葉を自分から調べてみようと思った。	2	四つの場面から自分の気に入った部分が見つかった。	6	自分なりに内容を楽しみながら、よく理解できていたと思う。	4	自分ではあまり理解できていなかったと思う。	2	わかるまでもっと勉強すればよかったと思う。	7	先生にもっと話を聞きたかった。	3	内容の意味がよくわからないままですまなかった。	2	3 枕草子のイメージ画	自分の好きな場面を絵に表すのはおもしろかった。	8	気に入った部分がたくさんあったので、もっとたくさん描いてみたかった。	8	言葉から感じたり、想像したりしたことを絵で表すのは楽しかった。	6	言葉から感じたり、想像したりしたことを絵で表すのは難しかった。	4	言葉から想像して絵にするのが好きになった。	7	言葉から想像して絵にするのはあまりやりたくないと思った。	0	自分なりに工夫ができたと思う。	7	もっとよく感じて、考えて、工夫すればよかった。	5	どうしたらよいのかがよくわからなかった。	0	友だちからよいところを認めてもらえてうれしかった。	5	友だちからの感想を次に役立てようと思った。	3	自分のイメージを自分なりに友だちに伝えられたと思う。	9	自分のイメージを友だちにうまく伝えられなかったと思う。	1	<p>○M・Yくんへの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほたるがどのように飛び交っているのかが、水辺を描いていたので、よりわかりやすかった。</li> <li>・ほたるがたくさん飛んでいる様子が想像しやすい。</li> <li>・月夜の明るさがうまく描かれていて、夏の夜の様子がよくわかった。</li> </ul> <p>○A・Mくんへの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝方の夜明けの感じがすごく出ていて様子がわかりやすかった。</li> <li>・説明がくわしくて、どの言葉からどんな風景を想像したのかわかりやすかった。</li> <li>・「山ぎはすこし明かりて」の感じがよく出ていた。</li> <li>・太陽が昇り始めている感じから「あけぼの」を想像できた。</li> </ul> <p>〈学習・授業の感想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現が歌（詩）のようになっていたので覚えやすかった。</li> <li>・ペアワークで暗誦練習をしたのはゲームみたいで楽しかった。</li> <li>・暗誦するのが少し大変だったけれど、自分なりに頑張れた。</li> <li>・今回の授業で取り組んだ経験を活かして頑張りたいと思う。</li> <li>・古文は言葉の読み方や意味の難しいところがある。</li> <li>・暗誦練習等を始めた時は、ちょっと嫌だなという感じだった。でも、暗誦ができるようになってきたら楽しくなってきた。</li> <li>・文章を読んで自分の頭に思い浮かんだイメージを絵にしてみんなに伝えるのは楽しかった。またやりたいと思う。</li> <li>・暗誦するのは難しかったけれど、ペアワークで友だちと一緒に練習していると楽しく覚えられるようになった。</li> <li>・歴史が好きなので、平安時代のことに触れることもできて、とてもよかった。特に、「冬はつとめて」の説明を聞くのが楽しかった。</li> <li>・意外と簡単に感じた。もっと難しくしてほしいと思うこともあった。</li> </ul> <p>【振り返りシートからの児童の学習状況についての考察】</p> <p>全般的に学習と向き合う姿勢の向上は認められ、振り返りシートを通じて個々の意識の変化や意欲の向上がよりわかりやすく把握できた。言葉を通じて、自分の中で感じたイメージの広がりを持ち、それを発表したことで内容理解を深めることにも繋がったようにうかがえる。</p> <p>左の表の結果から、この学習において他者から認められたことによる児童の自己肯定感の向上が表れていることが読み取れる。</p>
項目	振り返り内容	合計																																																												
1 枕草子の暗誦	自分から進んでやってみようと思う気持ちがあった。	3																																																												
	楽しみながらやろうとする気持ちがあった。	5																																																												
	以前に比べて、暗誦することに少し前向きになった。	2																																																												
	暗誦するのはたいへんだった。	0																																																												
2 枕草子の学習姿勢	自分から進んで理解しようと思う気持ちがあった。	6																																																												
	授業での説明や先生の話聞いていて、その場面の様子を想像できた。	8																																																												
	各場面の情景を想像してみるのが楽しかった。	7																																																												
	わからない言葉を自分から調べてみようと思った。	2																																																												
	四つの場面から自分の気に入った部分が見つかった。	6																																																												
	自分なりに内容を楽しみながら、よく理解できていたと思う。	4																																																												
	自分ではあまり理解できていなかったと思う。	2																																																												
	わかるまでもっと勉強すればよかったと思う。	7																																																												
	先生にもっと話を聞きたかった。	3																																																												
内容の意味がよくわからないままですまなかった。	2																																																													
3 枕草子のイメージ画	自分の好きな場面を絵に表すのはおもしろかった。	8																																																												
	気に入った部分がたくさんあったので、もっとたくさん描いてみたかった。	8																																																												
	言葉から感じたり、想像したりしたことを絵で表すのは楽しかった。	6																																																												
	言葉から感じたり、想像したりしたことを絵で表すのは難しかった。	4																																																												
	言葉から想像して絵にするのが好きになった。	7																																																												
	言葉から想像して絵にするのはあまりやりたくないと思った。	0																																																												
	自分なりに工夫ができたと思う。	7																																																												
	もっとよく感じて、考えて、工夫すればよかった。	5																																																												
	どうしたらよいのかがよくわからなかった。	0																																																												
	友だちからよいところを認めてもらえてうれしかった。	5																																																												
	友だちからの感想を次に役立てようと思った。	3																																																												
	自分のイメージを自分なりに友だちに伝えられたと思う。	9																																																												
	自分のイメージを友だちにうまく伝えられなかったと思う。	1																																																												